



認知症と 付き合いながら暮らす

認知症の人や家族、地域の人が気兼ねなく参加できる場があります。
詳しくは、本紙25～27ページのいきいき健幸生活をご覧ください。

認知症カフェ

さんじょうオレンジカフェ

認知症の人や家族、地域の方がお互いに交流したり、情報交換をしたりする場です。認知症の知識を持つ専門家もいます。



人と話をすることが大事だと言われているのでありがたいです。



参加者

介護経験者の話が聞けてよかったです。認知症の家族を気軽に連れて行ける所がないのでありがたいです。



家族

集いの場

認知症本人の集い

それぞれがやりたいことをして、気兼ねなく過ごせる場です。認知症サポーターから更に深く学んだ人も参加し、一緒に楽しんでいます。参加を希望する人は地域包括支援センターに相談してください。



地域包括支援センター

この会に来るとほっとする。話を聞いてくれる人がいて楽しくおしゃべりできる。やりたいことをのびのびとやらせてもらえてうれしいです。



参加者

認知症の本人のこんなに楽しそうな表情を久しぶりに見ました。



家族



便利なグッズ

※①～③は家電量販店で購入できます。

※④、⑤は高齢介護課 ☎34-5476 に問い合わせください。

①スマホで外出先から家電を遠隔操作

エアコンや照明のオンオフや、部屋の温度の確認、管理などができます。



②玄関のインターホンで外出先から来客者を確認

家のインターホンの映像を、外出先の家族がスマホで確認、対応できます。



③スマートスピーカーの活用

声に反応する機能で、繰り返しの質問にも何度でも答えてくれ、高齢の親のサポートや、本人や家族のストレス緩和につながります。



介護保険のサービス

介護度や本人の状態に応じたサービスを利用できます。利用までの流れやサービスの内容は、利用ガイドブックをご覧ください。



介護保険サービス利用ガイドブック



施設に通うサービス

認知症対応型通所介護

自宅にこもりきりの人の孤立感の解消や、心身機能の維持回復、家族の介護負担の軽減のため、認知症介護の専門知識を持つ職員が、症状に合わせたケアを提供する小規模なデイサービスです。



通い、泊まり、訪問がセットのサービス

小規模多機能型居宅介護

同じ施設の中で、「通い（デイサービス）」、「訪問（ヘルパー）」、「泊まり（ショートステイ）」を組み合わせ利用できます。顔なじみのスタッフからケアが受けられます。



入居するサービス

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）

スタッフの支援の下、食事や掃除、洗濯などの日常生活を共同で行います。一人ひとりのできることが最大限に発揮される環境を整え、楽しみや潤いのある生活を送ることができるよう支援します。



④家での見守り機器、緊急通報装置

センサーで、人の動きがないとき、緊急ボタンを押したとき、自宅から出たときなどに、登録先に連絡がいく機能などがあります。緊急通報装置は貸し出しもしています。



ホームページ

⑤GPS機器

外出すると一人で帰宅できない心配がある認知症の人の位置情報が分かる小型端末で、家族などが居場所を知ることができます。レンタル費用などの助成があります。



ホームページ